

多様化時代における 木質構造と木質建築



平成 31 年 2 月 16 日 (土) 14:00 ~ | 茨城県開発公社 1 階 会議室

講師 アラップ 江村 哲哉氏



TETSUYA
EMURA

Profile

1983 年 愛知県生まれ
2006 年 東京大学工学部建築学科卒業
2008 年 東京大学大学院修士課程修了
2008 年～ アラップ東京事務所勤務
2015～2016 年 武蔵野美術大学非常勤講師

Arup

ロンドンに本社を置き、世界 39 カ国に 100 以上のオフィスを置く国際的な総合エンジニアリング企業。
日本支店は 1989 年に東京に設立され、モード学園コクーンタワー (新宿区)、ソニーシティ (港区)、ROKI Global Innovation Center (浜松市)、Ribbon Chapel (尾道市) などプロジェクトの大小を問わずエンジニアリング実績多数。

多様化時代における木質構造と木質建築

本年度のスキルアップセミナーは、世界の木質建築を今後リードしていくと期待されるアラップの構造エンジニア、江村哲哉氏をお招きします。大分県立美術館（2015年度 JIA 日本建築大賞）や狭山の森礼拝堂（2016年アジア地域建築家評議会 ARCASIA 建築賞最高賞）など、木材を使用したプロジェクトに多く携わる江村氏から、多様化時代における木質構造の考え方を聞けるまたとない機会です。皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日時

平成31年2月16日（土）14:00～16:00（受付13:30～）

会場

茨城県開発公社 1階 会議室（水戸市笠原町978-25 TEL.029-301-7000）

講師

江村 哲哉（えむら てつや）氏【アラップ】

【表面掲載作品】上段/大分県立美術館 (c)平井広行 下段/左:狭山の森礼拝堂 (c)Arup 中央:水戸市新市民会館 (c)伊東豊雄+横須賀満夫建築設計事務所 共同企業体 右:狭山湖畔霊園管理休憩棟 (c)Arup

テーマ説明

建築基準法の改正や新しい木質材料の普及、また3D技術や解析技術の発展に後押しされ、近年多様な木質建築が作られ続けている。サステナブルな建築材料としての木質材料、森林と林業、都市化と防耐火など、木を取り巻く多様な側面とどう付き合い、設計に反映させていくか。古い考えにとらわれず、現代の、そしてこれからの木質建築を捉える必要がある。ある構造エンジニアによる木質構造の実践の紹介を通して、その可能性を探る。

定員

定員70名（先着順 一般参加者および学生含む）

受講料

協会会員：2,000円、一般：3,000円、学生：無料

申込先

（一社）茨城県建築士事務所協会（水戸市笠原町978-30 建築会館2階）

【TEL】029-305-7771 【FAX】029-305-7791 【Mail】ikyokai@i-jk.org

※申込書に必要事項をご記入の上、協会事務局までFAX等にてお申し込みください。

先着順となりますので、ご希望者はお早めに！受講料は当日受付にて受領いたします。

申込書【2月16日スキルアップセミナー】

FAX.029-305-7791

氏名		受付No.
住所	（〒 ）	
事務所・学校など		
連絡先（電話など）		
協会会員一般の別	【 <input type="checkbox"/> 】 協会会員（会費 2,000円）	
	【 <input type="checkbox"/> 】 一般（会費 3,000円）	
※いずれかに○印をお付けください	【 <input type="checkbox"/> 】 学生（無料：当日は学生証の提示必要。不携帯の場合は一般料金）	